

高信頼性ICタグ

保守の重要性

近代日本でまさかということが、実際起こったのが、2012年12月2日の中央高速道路笹子トンネルでの天井崩落事故でした。貴重な人命が一瞬のうちに失われました。

関係者には晴天の霹靂とも言える事故ですが、すべての日本人が思ったのは、どうして未然に防げなかったかという素朴な疑問です。トンネル保守ということが不完全であったのか、また施工ミスになぜ気がつかなかったかという疑問です。

信頼性の確保のためには、まず十二分な設計、材料、施工、検査が大事です。これを抜きにして信頼性を議論することはできません。次に、長期に渡って使用する土木建造物をいかに正確に保守点検し、そして修理するかという課題があります。

保守点検が大事ということがよく言われるわりには、その手法や効率がよく議論されていないのではないかという危惧を覚えます。これからはより高度な無線システムの検討や高信頼度のICタグの活用が切実に望まれるところと思います。